



発行 / 小諸市公民館
編集 / 館報編集委員会
〒384-0801 長野県小諸市甲 1275-2
TEL 0267-23-8880 / FAX 0267-25-2224

10月19日(日)開催 小諸市文化会館自主事業 「音楽の絵本〜親子のためのクラシックコンサート〜」

ズーラシアnpラスを中心とした『音楽の絵本』を6年ぶりに開催しました。演奏中に居眠りをするマレーバクを子どもたちが大きな声で起こすなど、ユーモラスな場面がありました。来場者からは「とても迫力のある演奏で凄かった」などの感想もあり、世代を超えて家族みんなが楽しめるコンサートでした。



◆内容

- p.21 「みんなの宝物」(涌玉用水の「金庫開き」)
小山敬三美術館開館五十周年記念事業
p.22~23 第41回小諸市公民館まつり

- p.24 【お知らせ】小諸市公民館講座 ほか
p.25 「ぼくとわたしの作品」(水明小学校)ほか



カラー版はこちら

え、師走でございますな。クリスマスが近づくと、プレゼント選びに頭を悩ませる方も多いんじゃないでしょうか。私も、2歳になる孫に何を贈ろうかと考えていますね。

で、ふと思ったんです。この子だけじゃなく、未来の子どもたちが「知りたい」「学びたい」と思える世の中にするには、どうしたらいいかって。命令やご褒美じゃ、学びは続きません。やっぱり、自分から「知りたい!」と思う気持ちが必要なんですな。

その気持ちを育てるには、大人が楽しむ姿を見せること。本や音楽を楽しむ親の姿を見て育った子は、自然と興味を持つものです。ところが私ときたら、酒と博打がやめられない。まったく、いい歳して何やってるんだいと叱られてばかりですよ。

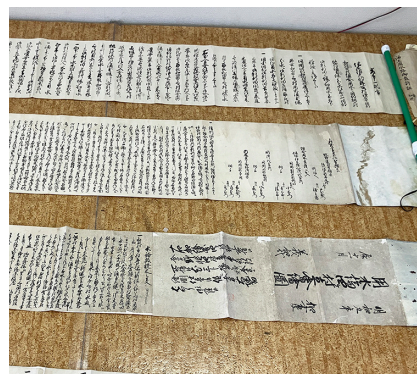
それでも、せめて子どもが「学びたい」と思った時に、自由に学べる環境を整えること。それが大人の責任じゃないかと感じております。

さて、今年のクリスマスには、いいおじいちゃんと思われるよう、仕掛け絵本を贈ろうと思います。ページをめくるたびに驚きがあるような本をね。より良い未来への、ささやかな贈り物になりますように。

編集委員 白鳥 聖一

みんなの宝物

「涌玉用水の「金庫開き」」



涌玉用水管理委員会（市区・耳取区・和田区）が、9月14日に市区農事集会所にて、所蔵する涌玉用水に関する史料の「金庫開き（古文書の虫干し）」を行いました。今回、市区区長及び三区三役の皆様の協力のもと、貴重な古文書を拝見することができました。

涌玉用水の歴史については、湧玉源泉の地に建立されている碑文に次のように刻まれています。『元和6年（1620年）以来の記録によれば、涌玉用水は浅間山麓の主ヶ沢・追手沢・大谷地の湧水を塩野村・涌玉地籍にまとめ、馬瀬口地域を南流し涌玉用水に御影用水が郷戸地籍にて合流し、さ

し古岩で分流し本流は市村（市村新田）、耳取、和田の三地区の用水に供して下流の上河原の地に至って、千曲川に注ぐ。この貴重な用水の水利権は市村（100）・耳取（50）・和田（25）の割合となつて現在に受け継がれている。（以下省略）以上のように、涌玉用水は今より400年以上前から貴重な用水として、長年使用されています。

現在、涌玉用水管理委員会に所蔵されている古文書の大

半が、水争いによる訴状や裁定に関するものになり、最古の史料は、貞享4年（1687年）の水論訴状になります。

安永3年

（1774年）

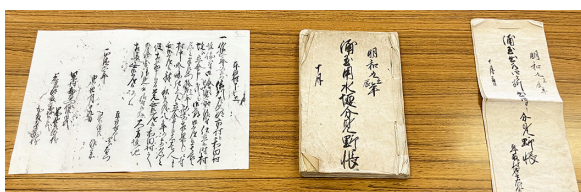
の裁許請証文

では、市村、

耳取村、和田

村が御影新田

を相手取り、



訴えた内容や裁決が記されています。この訴訟は、上流の御影新田に水を止められたことにより、下流の市村、耳取村、和田村に水が来なくなり、米が取れなくなったため、水を止めた御影新田を訴えたものでした。

また、安永元年（1772年）に作成された涌玉用水を描いた絵図面も残っていて、当時の市村、耳取村、和田村の地形や様子が垣間見ることができ



この金庫開きは毎年9月に行われ、一般公開をしています。歴史遺産に触れることができる貴重な時間ですので、ぜひ大勢の方にお越しいただければと思います。

編集委員 高見澤 翔吾

「小山敬三美術館開館五十周年記念事業」

小諸市名誉市民であり文化勲章受章者の小山敬三画伯が、絵画と共に建設した美術館を小諸市に寄贈してから、今年で丁度50年を迎えました。

島崎藤村の助言で1920年にフランスに渡り、帰国後も努力と研鑽により洋画界の頂点に上り詰めた小山敬三画伯。今回の50年という節目にあたり、立派な記念事業にしようとして5つの催しを決めたのです。

最初は8月31日、第11代館長を務めた土屋佳生先生の講演会。殆どの方が知らない魅力的な逸話に引き込まれました。

第2弾は収蔵している絵画を、高原美術館の広い会場に展示した。多くの展示を行う美術館にあって、最高の展覧会となりました。

第3弾は9月20日。小諸市で初開催の「家族草子」公演。朗読劇ながら演技あり、ギター伴奏も美しく感動の余韻が長く続きました。

そして記念日10月26日に美術館周辺で式典と記念植樹。「次の半世紀への扉をひらく」をテーマにテープカットを行いました。

記念事業最後の第5弾は小山敬三美術館を会場に、式典後から開館当時50年前の展示を再現します。第2展示室では建物の設計者である文化勲章受章者村野藤吾氏に光をあてています。この記念展は、令和8年3月31日（火）まで開催中です。

小山敬三画伯の芸術性と功績は永遠であります。節目の年にこの偉大さを新たにしたいと思います。

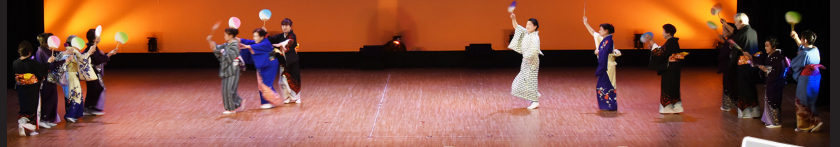
館長 小清水 敏彦



11 日午前のホール発表では、野岸小学校管楽部が「ハロー・ドーリー」や「光り輝く神秘的な森」などのメドレーを、笑顔とノリノリの演奏で披露。東海小学生バンドフェスティバルで金賞 1 位を受賞し、今年も全日本小学生バンドフェスティバルに出場を果たしました。芦原中学校吹奏楽部は「名探偵コナン」や「ジャンボリーミッキー」などを演奏し、1 年生の頑張りも印象的でした。ウクレレやマジックも日頃の努力が感じられ、5 グループによるフラダンスは衣装も華やかで、それぞれの個性が光っていました。



第 41 回小諸市 公民館まつり



第 41 回公民館まつりを 10 月 11 日・12 日に開催しました。恒例となったホール発表・作品展示・小諸もろもろ塾（実演・体験コーナー）などのほか、今年は公民館まつりをめぐるスタンプラリーを行いました。当日の催し物の様子を編集委員が取材したのでご紹介します。



編集委員 白鳥 聖一



12 日のホール発表では、9 団体による発表がありました。「さくらんぼ」の大正琴、「小諸太極拳同好会」の演武、「楽団ふたり」のトランペット演奏、「小諸馬子唄保存会」の民謡、「小諸東中学校吹奏楽部」の演奏、「乙女倶楽部」の銭太鼓、「若葉好扇社中」の舞踊、「ストリートダンサーズ」のダンス、「土屋芳美ジャズダンス教室」のジャズダンスを、それぞれの先生の指導の下で取り組んだ成果として楽しそうに披露していました。

特に最後の 2 つのダンスは、大人の中に子どもたちも参加しての発表に、観客からの熱い声援があり、盛り上がっていました。

編集委員 小林 隆志



11日は肌寒いせいか、客足が鈍く作品展示をゆっくり楽しむことができませんでした。入ってすぐの所にフォトクラブの写真が出迎えてくれました。簡単には行くことができない被写体に目を奪われました。大変な努力の末の一枚だと思います。写真展示から右回りに順繰りに展示品を見ていきました。途中シニア教室の川柳作品の前にいた女性が「これ私の句です。日常をそのまま句にすれば良いのです」素直に物事に接すれば句はできるものだと思えました。絵画、陶芸、書道等いずれも力作揃いでした。

編集委員 中山 正男



11日は若干の雨模様ではありましたが、今年も『公民館まつり』が始まりました。

私は、体育館の作品展示を鑑賞しましたが、手芸、陶芸、写真、絵画等々、沢山の作品が展示されており圧倒されてしまいました。どこを眺めても長時間掛けなければ完成しないような作品ばかりだなと思いました。

パッチワークのコーナーでは、出品者の皆さんの個性が出ており同じ種類のバッグでも色や形が様々で感心させられました。また、写真のコーナーでは紅葉の進んだ山々の写真が飾られており、秋の祭りに合った作品だなと思いながら鑑賞しました。

他のコーナーも力作揃いで、出品された皆さんの作品に触れられたことに感謝します。

編集委員 荻原 政寿



11日の体験コーナーの「体幹+フローヨガ」の参加者は6名。穏やかな音楽の中、ヨガマット上に胡坐座り^{あぐら}で、呼吸を整え心と向きあう。そして呼吸に合わせてテンポ良く次々とポーズを変化していく。緩やかな動きに汗が^{にじ}滲む。最後は消灯し瞑想クールダウンして終わり、あっという間の1時間余りでした。「ジャイロキネシス」は椅子に腰かけ背骨を動かすことを重点にやりました。ヨガと共に柔軟な体作りの大切さを感じました。

「親子工作」のお菓子釣りに子どもたちが楽しそう。「ハーブを使ったインテリア作り」「手作りクラフト」「マジック」と盛りだくさんでした。

編集委員 市川 強



12日の体験コーナーでは、「そば打ち」「スポーツウエルネス吹き矢」「手話ダンス」「太極拳」「大正琴」「ハーブ・アロマポットづくり」「親子工作」が行われました。どの体験コーナーも大勢の人で賑わっていました。

私の息子は「親子工作」にて「ホイルアートと魚釣り」を体験させていただきました。色々な形にかたどったホイルに、油性マジックで色を塗り、最後に目と口を付けて完成です。息子はカラフルな雪だるまを作りました。最後にお菓子を魚に見立てた「魚釣り」を体験させていただきとても楽しそうでした。編集委員 高見澤 翔吾



第 27 回 小諸市民美術展《作品募集》

小諸地域の美術の振興と会員相互の親睦を図り、地方文化の向上に寄与することを目的に、小諸市民美術展を開催します。

美術展会期 令和 8 年 2 月 26 日(木)～ 3 月 1 日(日) 9:00 ～ 17:00 (最終日は 15:00 まで)

会 場 小諸市文化センター乙女湖体育館

出 品 要 項 I 募集作品 日本画・水墨画・水彩画・油絵・木彫・版画・切り絵・その他

II 募集資格 小諸市在住者、または市内小中高校に通う児童・生徒、市内を拠点に活動している美術団体

III 申込期限 令和 8 年 2 月 13 日(金)必着

【作品搬入・展示】2 月 25 日(木) 13:00 ～ 【作品搬出・片付け】3 月 1 日(日) 15:30 ～

☎ 小諸市文化協会事務局 ☎ 0267-23-8880 / FAX 0267-25-2224



小諸市公民館登録団体制度のご案内

公民館は公的な集会施設であるため、住民の皆さんの文化的、健康的な活動のために開放しています。その中で、社会教育活動を行う団体を「公民館施設利用登録団体」として認定し、活動を支援します。

小諸市公民館登録団体に認定されると・・・

公民館(文化会館は除く)の施設使用料を全額免除します。

ただし、冷暖房費、料理教室のガス代・電気代、乙女湖体育館の水銀灯代はご負担いただきます。

また、公民館主催事業及び施設維持管理活動へ参加・協力をしていただきます。

その他、認定条件、申請方法等についてはお問い合わせください。



☎ 小諸市文化センター ☎ 0267-23-8880

12・1 月公民館講座

☎ 小諸市文化センター ☎ 0267-23-8880

申込みは、窓口、電話 (9:00 ～ 17:00) または、ながの電子申請 (小諸市HP)。

申込み多数の場合は、初めての方を優先し、公民館にて抽選します。また、申込みが少ない場合などは、中止や変更になることがあります。託児希望の場合はご相談ください。



申込みはコチラ

プロの料理人に学ぶ **家庭でできる和・洋・中**

【全3回】

- ◇場 所 料理教室
◇材料費 3,000 円 ◇定 員 18 名
◇持ち物 エプロン、三角巾、マスク
◆申 込 12/10 (木)～26 (金)

一 内 容

□ 1/28 (木) 中華

五郎兵衛米で作る米粉麺のアレンジメニュー

講 師: Naos kitchen 油井直道さん

□ 2/11 (木) 洋食

基本の絶品パスタとサラダ

講 師: ビストロ・アオクビ 鴨川知征さん

□ 2/25 (木) 和食

地元のそば粉などの食材を使ったメニュー

講 師: 中棚荘 はりこし亭 横田顕さん

脳トレ・健康麻雀

初心者・初級者向け【全4回】

講 師: マージャンカフェ～楽～主宰 白井新悟さん

- ◇日 時 1/14・28、2/11・25 (木) 14:00 ～ 16:00
◇場 所 第一講義室
◇費 用 無料 ◇定 員 16 名
◆申 込 12/3 (木)～17 (木)



着物リメイク講座

和服から作り直せるチュニック(ベスト)を作りましょう【全3回】

講 師: 大池佳子さん

- ◇日 時 1/21、2/4、18 (木) 13:30 ～ 16:30
◇場 所 陶芸木工室
◇費 用 無料 ◇定 員 10 名
◇持ち物 リメイクする着物、裁縫道具
◆申 込 12/10 (木)～24 (木)



NEW

年末年始子ども講座 書初め教室

冬休みの課題を、書道の先生に教わりながら仕上げよう

講 師: 小諸書芸連盟

- ◇日 時 12/27 (土) 9:00 ～ 12:00
◇場 所 乙女湖体育館 ◇費 用 100 円
◇定 員 市内小中学生 40 名 (学年問わず)
◇持ち物 書道道具一式(下敷きを含む)、新聞紙(一日分)
◆申 込 11/26 (木)～12/10 (木)
※申込みはオンラインのみとします。



「未来の私」

6年1組 はるはら ゆの 春原 佑音



私は図工の学習で、未来の自分を作りました。将来になりたい仕事を想像して、針金に粘土を付け、最後に色を塗って仕上げました。

私の夢は小説家です。なぜかという、小説朝比奈容子さん作「わたしと話したくないあの子」を読んで、友情がすれちがう所が自分は想像できず、すごく感動できる話だったからです。こんな楽しい話を作り出せるなんてすごいと感じました。私はこの小説に出会ってから、自分もお話を作りたいと思うようになりました。

作品作りで工夫したことは2つあります。1つ目は、左右対称になるようにきれいに粘土をつけたことです。まずはきれいに粘土をつけ、そのあとに自分を見ながら、自分に似るように粘土をたしました。2つ目は、色塗りです。細かい部分も多く、色が混ざらないように筆の先を細くしながら集中して塗りました。

自分の未来をたくさん想像して、満足のいく作品を作ることができました。



「未来のぼく」

6年2組 おぎはら りゅうが 荻原 龍雅



図工の授業で、未来のぼくをテーマに粘土で作品を作りました。

はじめは、針金でポーズを決めました。ぼくはしょう来サッカー選手になりたいので、かっこよくオーバーヘッドキックをしているポーズにしました。オーバーヘッドキックをかっこよくするために工夫したことは、3つあります。

1つ目は、服の厚みや、そでの部分を本物と同じような形で作りました。

2つ目は、ボールをきれいに丸く実物を見ながらもようを固まった粘土をサインペンで描きました。

3つ目は、背景です。観客や、ベンチの選手も描きました。

ぼくは、この作品を作って、サッカー選手になる夢が大きくなり、毎日のサッカーの練習をもっとがんばろうと思いました。そして、ぼくがプロサッカー選手になったら、作品のようなかっこいいオーバーヘッドキックを決めたいです。



小諸市文化センターからのお知らせ

12/2 (火)施設予約開始

※ 乙女湖体育館は、令和7年4月1日に小諸市公民館に統合しました。

施設名	利用月
公民館	R 8/2
文化会館	R 8/12

年末年始の休館日

12/27 (土)~
1/5 (月)まで
全館休館となります。

